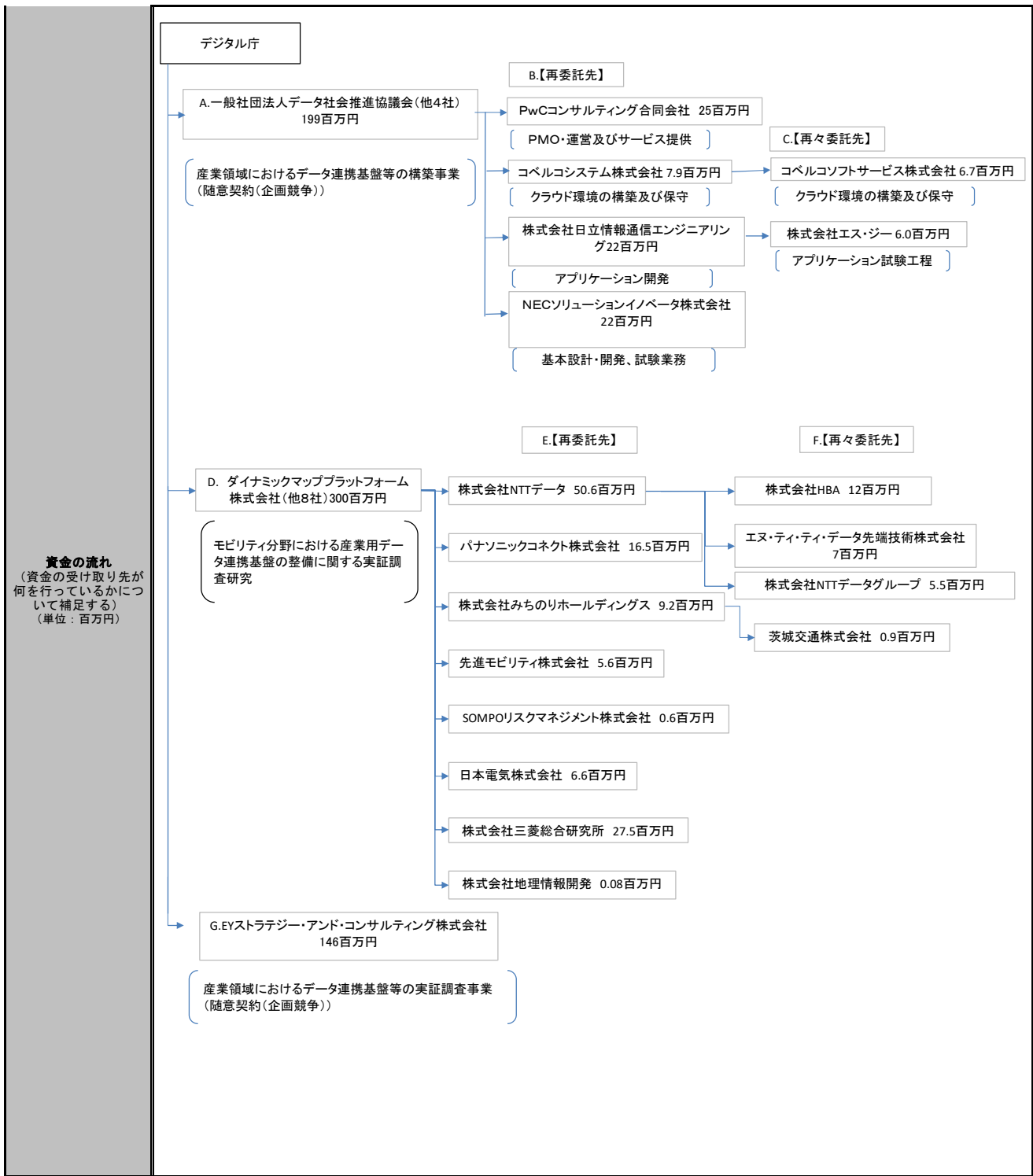


令和5年度行政事業レビューシート				( デジタル庁 )			
<b>事業名</b>	産業用データ連携基盤		<b>担当部局</b>	国民向けサービスグループ	<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始年度</b>	令和4年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	令和7年度	<b>担当課室</b>	企業間取引班	三田 哲也	
<b>会計区分</b>	一般会計						
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	-		<b>関係する計画、通知等</b>	デジタル社会の実現に向けた重点計画(令和5年6月9日閣議決定)			
<b>政策</b>	情報通信技術等の適正・効率化に関する施策の推進		<b>主要経費</b>	その他の事項経費			
<b>施策</b>	情報システムの整備						
<b>政策体系・評価書URL</b>	https://www.digital.go.jp/policies/assessment/						
<b>事業の目的</b> (5行程度以内)	公平かつ競争力のあるデジタル経済の実現や産業データの有効活用を通じた国際競争力の強化、(ドローン、自動運転をはじめとした新たなモビリティサービス等)デジタルを活用した様々な技術のサービス実装を実現するために、業界をまたがるデータ交換を容易に行う仕組みを構築する。						
<b>現状・課題</b> (5行程度以内)	現在、産業用データ連携基盤のアーキテクチャは整備されつつあるが、そのアーキテクチャが普及に適したものか、検証ができていない状況にある。海外では、こうした検証を経て、着々と実装に向けた準備が進められているところであり、欧州のデータスペースと相互接続する等、海外の取組と連携していく必要があるが、日本のポリシーの下、安全にデータ管理できる仕組みを早急に構築する必要がある。						
<b>事業概要</b> (5行程度以内)	企業間の様々なデータ交換を実現する産業用データ連携基盤の実装に向け、コネクタ、認証、カタログなどのデータ交換に必要なコンポーネント類を調達あるいは、開発し、それが安全にデータ管理できるものとなっているか検証をすることで、日本にとって適切なデータ連携システムを構築する。						
<b>事業概要URL</b>	-						
<b>実施方法</b>	委託・請負						
<b>補助率等</b>	-						
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円) (インプット)	予算の状況	当初予算(A)	-	-	-	-	-
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
		令和5年度第1次補正予算					
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	-	-	-
		執行額(G)	-	-	-	-	-
執行率(%) =(G)/(F)	-	-	-	-	-		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	-	-	-	-	-		
<b>令和5・6年度 予算内訳</b> (単位:百万円)	<b>歳出予算項・目</b>		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
					-		
		計(A)	-	-			

<b>活動内容①</b> (アクティビティ)		企業間の様々なデータ交換を実現する産業用データ連携基盤の実装に向け、コネクタ、認証、カタログなどのデータ交換に必要なコンポーネント類を調達あるいは開発し、それらが安全にデータ管理できるものとなっているか検証をすることで、日本にとって適切なデータ連携システムを構築する。									
↓											
<b>活動目標及び活動実績①</b> (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		企業間の横断的なデータ連携の構築	産業用データ連携基盤の構築に取り組んだ分野数	活動実績	-	-	-	-	-	-	
				当初見込み	-	-	-	-	3	-	
↓											
<b>成果目標①-1の 設定理由</b> (アウトプット からのつながり)											
<b>成果目標及び成果実績①-1</b> (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度		
				成果実績							
				目標値							
				達成度	%	-	-	-	-		
<b>成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに関 する成果実績</b>											
↓											
<b>成果目標①-2の 設定理由</b> (短期アウトカム からのつながり)											
<b>成果目標及び成果実績①-2</b> (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度		
				成果実績							
				目標値							
				達成度	%	-	-	-	-		
<b>成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに関 する成果実績</b>											
↓											
<b>成果目標①-3の 設定理由</b> (長期アウトカム へのつながり)		業界をまたがるデータ交換を容易に行える標準的な認証の仕組みを通じて相互運用性を実現することが求められているところ、相互運用性を確保したデータ交換を実現し産業のデジタル化を加速することを目的として産業用データ連携基盤を構築を図っていく。 なお、実証に当たっては緊急性及び必要性を鑑み注力すべき分野を定め、必要な分野から始めることとして、現場での実証を踏まえてその基盤技術を確立する。									
<b>成果目標及び成果実績①-3</b> (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7年度		
		産業用データ連携基盤を活用している事業者数	産業用データ連携基盤を活用している事業者数	成果実績	事業者数	-	-	-			
				目標値	事業者数	-	-	-	100		
				達成度	%	-	-	-			
<b>成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに関 する成果実績</b>		民間における産業用データ連携基盤の浸透度合いを定量的に把握するにあたり、業界内における事業者数を目標値として設定。									
<b>アウトカム設定について の説明</b>		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
		取組期間が令和5年度から令和7年度までと、期間が限定されているため。									

事業に関連するKPIが定められている開議決定等	名称	デジタル社会の実現に向けた重点計画	
	URL	<a href="https://www.digital.go.jp/policies/priority-policy-program/">https://www.digital.go.jp/policies/priority-policy-program/</a>	
	該当箇所	p.70	
<b>事業所管部局による点検・改善</b>			
点検結果	<p>今年度から産業用データ連携基盤の構築に向けた調達に取り組んでいる。プロポーザル型企画競争を採用し、調達の透明性・公平性を確保しつつ、本業務の背景や趣旨、要件を正しく理解し、有益な企画内容が提案されるように、適正・効率的な予算執行に努める(概算要求提出時点(令和5年9月時点)での記載)。</p>		目標年度における効果測定に関する評価(令和8年度実施)
	<p>適正・効率的な調達業務を実施する(概算要求提出時点(令和5年9月時点)での記載)。</p>		
改善の方向性	<p>適正・効率的な調達業務を実施する(概算要求提出時点(令和5年9月時点)での記載)。</p>		
<b>外部有識者の所見</b>			
点検対象外(概算要求提出時点(令和5年9月時点)での記載)			
<b>行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見</b>			
現状通り	<p>事業の有効性・効率性・成果について、適切かつ的確に検証し、効率的執行に努めるべき。なお、アウトカムが複数設定できない理由については、本事業は実施年度が短期間で段階的なアウトカムの設定が難しい事業であることから、理由は妥当であると考え。(概算要求提出時点(令和5年9月時点)での記載)</p>		
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>			
現状通り	<p>引き続き、事業の有効性・効率性・成果について適切かつ的確に検証し、効率的執行に努める。(概算要求提出時点(令和5年9月時点)での記載)</p>		
過去に受けた指摘事項と対応状況	<b>公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)における取りまとめ</b>		
	-		
	<b>上記への対応状況</b>		
	-		
	<b>その他の指摘事項</b>		
	-		
<b>備考</b>			
-			
<b>関連する過去のレビューシートの事業番号</b>			
平成23年度			
平成24年度			
平成25年度			
平成26年度			
平成27年度			
平成28年度			
平成29年度			
平成30年度			
令和元年度			
令和2年度			
令和3年度			
令和4年度	2022	デジ	21 0001 30



費目・用途 <small>(「資金の流れ」において  ブロックごとに最大の金額  が支出されている者につ  いて記載する。費目と使  途の双方で実情が分かる  ように記載)</small>	A.			B.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	役員費	システム設計・開発	199	役員費	PMO・運営及びサービス提供	25
	計		199	計		25
	C.			D.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	役員費	クラウド環境の構築及び保守	6.7	役員費	モビリティ分野における産業用データ連携基盤の整備 に関する実証調査研究	300
	計		6.7	計		300
	E.			F.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
役員費	4次元時空間情報基盤の開発・検証	50.6	役員費	4次元時空間情報基盤の開発・検証	12	
計		50.6	計		12	
G.			H.			
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
役員費	産業領域におけるデータ連携基盤等の実証調査事 業	146				
計		146	計		0	

**費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載**

チェック

**支出先上位10者リスト**

A.								
	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	一般社団法人データ社会推進協議会	4011005007414	システム設計・開発	199	随意契約(企画競争)	1	99%	
B.								
	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	PwCコンサルティング合同会社	1010401023102	PMO・運営及びサービス提供	25	その他	-	-	
2	株式会社日立情報通信エンジニアリング	9020001007959	アプリケーション開発	22	その他	-	-	
3	NECソリューションイノベータ株式会社	7010601022674	基本設計・開発、事件業務	22	その他	-	-	
4	コベルシステム株式会社	7140001007718	クラウド環境の構築及び保守	7.9	その他	-	-	
C.								
	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	コベルソフトサービス株式会社	6140001007719	クラウド環境の構築及び保守	6.7	その他	-	-	
2	株式会社エス・ジー	1010401004572	アプリケーション試験工程	6	その他	-	-	
D.								
	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	ダイナミックマッププラットフォーム株式会社	4010401125416	モビリティ分野における実証調査研究	300	随意契約(企画競争)	2	100%	
E.								
	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社NTTデータ	6010601062093	空間情報システムの開発	50.6	その他	-	-	
2	パナソニックコネク株式会社	3010001129215	画像のAI解析の開発等	16.5	その他	-	-	
3	株式会社みちのりホールディングス	1010001123665	人流ユースケース設定、検証	9.2	その他	-	-	
4	先進モビリティ株式会社	2011001100661	人流ユースケースの設定支援、自動運転車両の提供	5.6	その他	-	-	
5	SOMPOリスクマネジメント株式会社	2011101025379	人流ユースケース検討における安全リスク評価	0.6	その他	-	-	
6	日本電気株式会社	7010401022916	インフラ協調ユースケースの机上検討・評価	6.6	その他	-	-	
7	株式会社三菱総合研究所	6010001030403	評価モデル策定、取纏め支援、実証遂行支援	27.5	その他	-	-	
8	株式会社地理情報開発	2010001065023	テストコース内HDマップの作成	0.1	その他	-	-	

F

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社HBA	8430001022439	4次元時空間情報基盤に含まれる空間情報システムの開発等	11.9	その他	-	-	
2	エヌ・ティ・ティ・データ先端技術株式会社	7010001130664	4次元時空間情報基盤に含まれる空間情報システムの開発等	7.2	その他	-	-	
3	株式会社NTTデータグループ	9010601021385	4次元時空間情報基盤に含まれる空間情報システムの開発等	5.5	その他	-	-	
4	茨城交通株式会社	6050001006333	人流ユースケース設定、検証、実証、評価支援業務の遂行	0.9	その他	-	-	

G

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社	6010001107003	産業領域におけるデータ連携基盤等の実証調査事業	146	随意契約(企画競争)	1	99%	
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	